おごせ教育 Pick up

越生小学校

5月23日(土)に、曇り空の下ではありましたが、運動会が行われました。『～パワー全開！　本気・団結　つかむぞ勝利！～』のスローガンのもと、“無敵の赤”“青炎の青”の2組に分かれ、競技を行いました。児童は、出場した種目に全力で取り組み、応援席では他の学年の競技に大きな声援を送っていました。

梅園小学校

5月23日(土)に、春季運動会を開催しました。今年のスローガンは、「協力し、全力で　優勝めざせ！」でした。子供たちは、保護者・地域の皆様からたくさんの声援を受けて、全力で競技・演技に臨みました。とても感動的な運動会になりました。

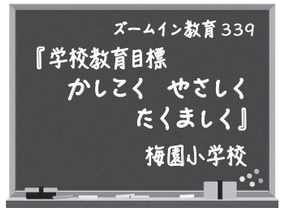
越生中学校

5月16日(土)に、第80回体育祭を開催しました。燃える太陽、澄み切った青空の下、新緑に囲まれ、「煌星心結　～夢中で駆けろ、青春の舞台～」をスローガンに掲げ、生徒たちは全力で競技や応援に取り組みました。たくさんの保護者や地域の方にも見守られ、感動あふれる体育祭となりました。

おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加するこどもたちを写真で紹介するコーナーです。

梅園小学校では、学校教育目標の実現に向け、「まなびあい　ひびきあい　つながりあう　みんなの梅小」のスローガンのもと、教育活動を進めております。



●目指す子供像

○自ら学びに挑戦し、最後まで粘り強く頑張る子
○自分も友達も認め、みんなを大切にできる子
○夢や希望を持ち、目標に向かって頑張る子

●目指す教職員像

○情熱と使命感及び豊かな人間性をもった、魅力的な教職員
○個を認め、良さを伸ばす教職員
○共に楽しみ、同僚性を高めて指導力を磨く教職員

●目指す学校像

○学ぶことが楽しく、魅力的な学校
○子供・家庭・地域から信頼される開かれた学校
○あいさつと歌声が響く学校
○心理的安全性の保たれた学校

【学校紹介】

本校は開校百五十三年目を迎えました。学区内には「越生梅林」や「黒山三滝」、「上谷の大クス」などの名所があり、四季の移ろいを感じる豊かな自然に恵まれています。

全校児童の約四割が学区外から通う特認校の特色を生かしながら、一人一人に寄り添う、きめ細かな教育を実践しています。

特に、地域と一体となった体験活動が充実しており、伝統の梅もぎや梅干し作り、サツマイモやヒラタケの栽培など、本物と触れ合う「生きた学び」を大切にしています。

また、「心理的安全性」の保たれた学校づくりを推進し、「間違えても大丈夫、仲間が助けてくれる」という安心感の中で、あいさつと歌声が響き、子供たちが主体的に学び続けられる魅力ある学校を目指しています。

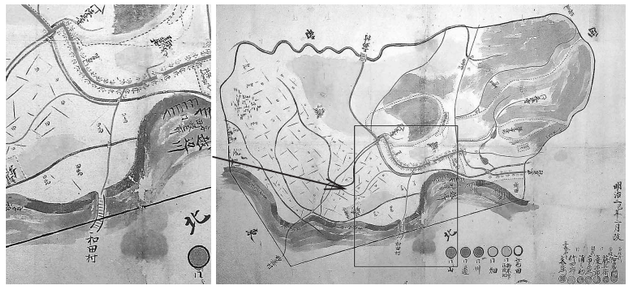
越生浪漫 No.209

「和田横丁」界隈

和田横丁（写真右側、石積の上が越生町道路元標）

和田横丁

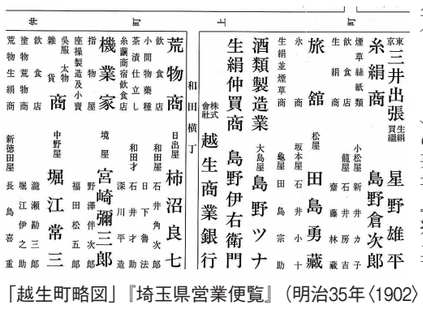
このほど、町道2―29号線の道路拡幅整備工事が完了しました。この通りは、越辺川を隔てて、隣村和田村（西和田〈現在の春日1丁目〉）への道が通じていたことから、「和田横丁」と呼ばれてきました。一帯は江戸時代から毎月6回の市が立ち、「越生の今市」として知られた今市村の中心街で、幕末の横浜開港以降は絹取引で繁栄し、最盛期の明治30年代には、絹・織物業者、旅館など大小の商家が軒を連ね、さながら小都会の趣きを呈していました。国登録有形文化財の金子家住宅（安政5年〈1858〉）、星野家住宅（明治41年〈1908〉）をはじめ、現存する幕末から明治にかけての建造物が、かつての繁栄を偲ばせてくれます。



「今市村絵図」（明治2年〈1869〉）

中央橋

『新編武蔵風土記稿』（文政13年〈1830〉成立）の「和田村」の項に、「川幅二十間、常は僅かに二三間許、冬より春に至ては板橋を架して往来に便す」とあります。明治2年（1869）の「今市村絵図」にも橋が描かれており、明治15年（1882）の『武蔵国郡村誌』には「尾崎前橋　長五間巾四尺木製」と記されています。中央橋は平成5年3月に現在の橋が竣工する前は、100mほど下流の八高線橋梁に平行して架けられていました。奥富由雄氏は、昭和43年（1968）の著書『郷土百年』で「中央橋の出現」として、「昭和22年8月1日の洪水（註―同年9月のカスリーン台風もしくは前年8月1日の集中豪雨災害）で流出した幅1mほどの板橋を、災害復旧工事として架設し直した」と記しています。この時、「中央橋」と命名されたのでしょう。



「越生町略図」『埼玉県営業便覧』（明治35年〈1902〉より）

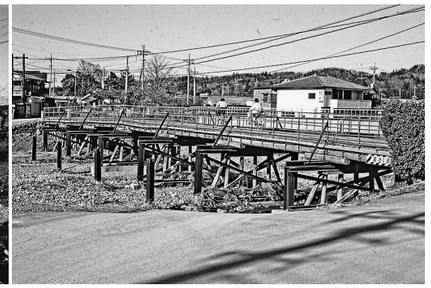
JR八高線越辺川橋梁

橋桁の銘板に「鐵道省」「川崎車輌株式會社製作」「昭和七年」の文字が読み取れます。昭和8年（1933）4月15日の越生―小川町間開業の際に設置された鉄道遺産です。

越生町道路元標・中堰樋管

和田横丁入口の大正時代に建てられた「越生町道路元標」、越辺川右岸の旧中央橋跡のたもとに遺る昭和23年築造の水路施設「中堰樋管」も貴重な産業遺産です。

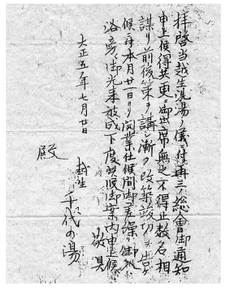
中堰樋管



「旧中央橋」（平成初年ごろ撮影）

付記「銭湯横丁」

和田横丁は「銭湯横丁」とも呼ばれていました。近年、この銭湯に関するものと思われる文書が見つかりました。「拝啓　当越生洗湯の儀に付き再三の総会御通知申上げ候　敬具　大正五年七月二十日　越生　千代の湯」



「千代の湯　改築竣功開業広告」（1916年）